

Minami Kyushu University Syllabus

| シラバス年度 | 2023年度 | 開講キャンパス | 開講キャンパス | 都城キャンパス | 都城キャンパス | 開設学科 | 開設学科 | 環境園芸学科 | | |
|------------|---|---------|---------|---------|---------|--------|------|----------------|---|--|
| 科目名称 | 農産物流通論 | | | | | | 授業形態 | 講義 | | |
| 科目コード | 710057 | 単位数 | 2単位 | 配当学年 | 3 | 実務経験教員 | | アクティブ ラーニング | ○ | |
| 担当教員名 | 姜 暎求 | | | | | | | ICT活 用 | ○ | |
| 授業概要 | <p>農業・食料関連産業の国内生産額は約116兆円で、全体経済の11%を占めている。農業・食料関連産業の国内生産額のうち、関連流通業が28%を占めている。これは農林漁業の生産額を大きく上回っている。授業は農産物流通について、国内青果物流通と中韓青果物流通を中心に学ぶ。</p> | | | | | | | | | |
| 関連する科目 | <p>履修前：農業経済学、農産物流通原論。 履修と同時： 履修後：</p> | | | | | | | | | |
| 授業の方法と進め方 | 各種報告書などから作成した講義資料を提供し、授業生とディスカッションする。 | | | | | | | | | |
| 授業計画【第1回】 | 1. 授業の導入 農業関連産業における農産物流通の位置付けと農産物流通論のカバー範囲を説明する。 | | | | | | | | | |
| 授業計画【第2回】 | 2. 農業生産基盤及び各農産物の生産動向 農業生産基盤及び生産動向について日中韓比較しながら学ぶ。 | | | | | | | | | |
| 授業計画【第3回】 | 3. 産地流通機構 産地流通の主役であるJAについて中国の合作社、韓国のNHと比較しながら学ぶ。 | | | | | | | | | |
| 授業計画【第4回】 | 4. 消費地卸売流通機構 消費地卸売流通の主役である中央卸売市場について中国の「批發市場」、韓国の「法定都買市場」と比較しながら学ぶ。 | | | | | | | | | |
| 授業計画【第5回】 | 5. 6次産業化の柱である産地直売所 「生産者—JA—卸売市場」というメイン流通経路と異なる経路の担い手である産地直売所について、その経済的意義と発展経緯などを学ぶ。また、中国の「農夫市場」や韓国の「直売場」と比較してみる。 | | | | | | | | | |
| 授業計画【第6回】 | 6. 農産物及び食品安全性制度 農産物及び食品安全性に関わる制度のうち、GAP制度、JAS制度、HACCP制度、Traceability制度について学ぶ。また、中国や韓国の制度と比較してみる。 | | | | | | | | | |
| 授業計画【第7回】 | 6. 農産物及び食品安全性制度—続き— | | | | | | | | | |
| 授業計画【第8回】 | 6. 農産物及び食品安全性制度—続き— | | | | | | | | | |
| 授業計画【第9回】 | 7. 青果物流通：野菜 青果物のメイン流通は「生産者—JA—卸売市場」である。この経路の形成過程及び経済的解釈について学ぶ。特に野菜流通は「野菜法」による価格安定事業は、国際的にみて大きな特徴である。指定野菜事業・特定野菜事業・契約野菜事業の仕組みについて学ぶ。また、どれほど野菜価格を安定させたか、を韓国の野菜価格変動と比較してみる。 | | | | | | | | | |
| 授業計画【第10回】 | 7. 青果物流通：野菜—続き— | | | | | | | | | |
| 授業計画【第11回】 | 7. 青果物流通：野菜—続き— | | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|---|
| 授業計画 【第12回】 | 7. 青果物流通：野菜―続き― |
| 授業計画 【第13回】 | 8. 青果物流通：果実 果実のメインである「生産者―JA―卸売市場」を沿って、果実流通が如何に変遷してきたかについて、野菜流通と比較しながら学ぶ。 |
| 授業計画 【第14回】 | 9. 米の流通 米流通は法制度によって大きく左右されてきた。米の流通に関する制度の変遷と流通動向について学ぶ。 |
| 授業計画 【第15回】 | 15. 授業のまとめと食品ロス 14回目までをまとめると共に食品ロスについて議論する。 |
| 授業の到達目標 | 国内及び東アジアの農産物流通を理解する。 |
| 学位授与の方針 (DP)との関連 | 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) |
| 授業時間外の学習 【予習】 | 農林水産省 http://www.maff.go.jp/index.html 、農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/ などを通じて、常に農業・農産物流通事情を検索して、知識化する。 |
| 授業時間外の学習 【復習】 | 農林水産省 http://www.maff.go.jp/index.html 、農畜産業振興機構 https://www.alic.go.jp/ などを通じて、常に農業・農産物流通事情を検索して、知識化する。 |
| 課題に対する フィードバック | 授業の内容を各自がまとめて提出し、提出した内容についてコメントする。 |
| 評価方法・基準 | 授業中の評価（小テストと議論）：50%、期末レポート：50%。 |
| テキスト | |
| 参考書 | |